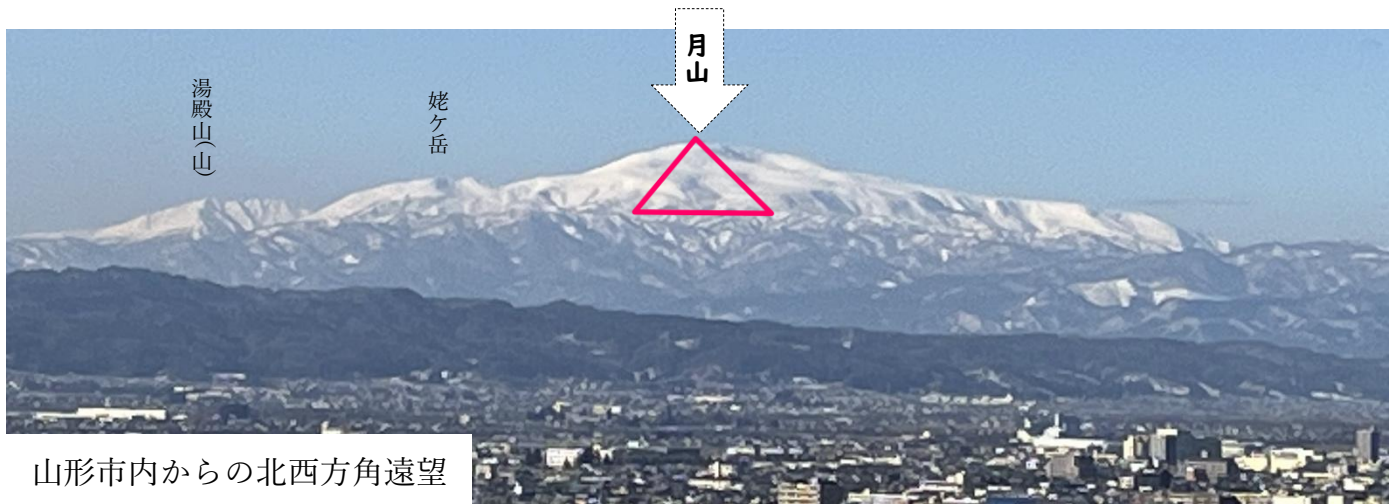




T・K－Friends活動紹介冊子

：調査報告書コンパクト版：



怪しげな！何か始まる一夜宿
日陰の向日葵 清川道



高・清は昔が匂う謎の道
遊び・学びの

ごちゃ混ぜ時空

— 活動の軌跡と成果 —

T・K-Friendsは、出羽三山月山東南エリア（西川口）、西川町本道寺を基点とする「高清水通り」と同町岩根沢を基点とする「清川道」という二つの出羽三山有史以来の登拝古道（総称して「高・清フレンドリー古道」）域に係る以下の活動を推進している有志グループです。なお、T・高は高清水通りの頭文字、K・清は清川道の頭文字を取ったものです。主な具体的活動内容は次のとおりです。

（１）地勢・史跡等調査；2022（令和４）年より史跡等の調査を集中的に行い、石造文化財の発見・発掘に努め、それらと合わせ参詣古道の歴史的・文化的な価値の再評価を図り、その魅力を高めています。

「高清水通り」について、所々に里程標としての『丁』石が点在しているのは分かっていた、がしかし、そのままの状態にありました。有志T-FMOは2022(令和４)年７月から、本調査を集中的・精力的に行い、従来気付かれていなかった石造文化財（石碑、墓石等）に着目し、T１～T６のミステリアスポイント（ランドマーク設定）を開拓しました。同調査に一区切りが付いたことから、注目されることのなかった隣接の「清川道」に焦点を当てました。T-FMOを拡大した有志T・K-Friendsは翌年2023(令和５)年７月から、同様の調査をこれまた集中的・精力的に行い、従来見過ごされて来た石造文化財（石碑、墓石等）に着目し、K１～K６のミステリアスポイントを開拓しました。いわば、両道共に長らく手つかずの状態であったものに光を当て、歴史背景等を考察の上で意味付けを図り、日陰に咲く向日葵的存在に至らしめたものと自負しております。

これらの調査内容は、※1出羽三山に関する学識者の書籍本は数多ありますが、それらの先行研究においても見逃されて来た（記載されていない、扱われていない、追及・深究が浅い）史跡であります。また、※2地元の郷土史的書籍には一部の名称（地名）は載っているものの具体的史跡のことは皆無同然です。いずれにしても空白を埋めた"新発見"とも言える成果です。

（※１）山形県内出身者としての戸川安章・岩鼻通明・大川廣海・山内志朗・渡辺幸任の各氏と出羽三山神社、中央での宮家準・久保田展弘・内藤正敏・片山正和の各氏の書籍を読んで確認している。

（※２）④原田一男著「月山登山案内」（山形山岳會・大正九年八月二十日初版発行）

⑤丸山茂著「神都 岩根澤之面影」（同刊行舎・昭和十五年十二月二十日発行）

⑥井場英雄著「岩根沢ものがたり」（岩根沢地区公民館・昭和五十一年十一月三日発行）

（２）登山道整備；登山者の安全確保と快適な登山のために不可欠な登山道の整備について、清川仙人会、大黒森プロジェクト、T-FMO、有志、地元住民、西川町などとの多様な関係者と連携し、継続的な取り組みに努めています。

自然の猛威は容赦しません。大雨の時は崩落個所が発生し登山道は寸断され、降雪量が多い時・強風の時は太い倒木が発生し、草木・笹竹は刈払いを行っても再生著しく暫時繁茂します。地元では、この登拝古道を保全すべく長年に亘って、毎年、登山道の整備――崩落個所の修復、倒木除去処理、草木・笹竹の刈払い等に尽力して来ました。その本的一端を2025(令和７)年の活動から後記15頁にピックアップ掲載しています。

（３）情報発信・可視化；それらの史跡や古道の魅力を積極的に公開することで可視化を図り、より多くの人の理解醸成と登山者増加（入山）の促進に注力しています。

これらの史跡は、かつて宿坊街として栄えた本道寺・岩根沢から月山・湯殿山へと向かう参詣人の賑わいを今に伝える西川町の至宝であります。これらの調査情報を個人の秘匿物にすることなく、SNS等

により積極的に公開し見える化を図って、価値の共有化を大切にしています。（別途報告書作成）この成果を2回にわたり、西川町交流センター『あいべ』において報告・発表に臨んで来ました。

□ 特に史跡等に対する評価について

何の変哲もない山道に奇妙で異様なものが点在する、とにもかくにも謎と神秘がぎゅっと詰まった不思議なエリアです。それらは「日月星〔天〕」と「自然〔地〕」と「古人〔人〕（清浄行・利他行・喜捨行）」の——天地人三位一体の交響的精華と言えるでしょう。「百聞は一見に如かず」という訓えのとおりで、多くの皆さんから、現地に足を運びご自身の肉眼で確かめて貰いたく思っています。実物を目の当たりにされますと、周辺の自然環境と相まって、きっと皆様の知的好奇心が大いに刺激されることでしょう。歴史と自然が息づくこの両古道を未来に繋ぐべく、活動に邁進して行く所存です。

ところで個人的な話になりますが、私（大沼）は、2009(H21)年定年退職の翌年2010(H22)年／61歳から2024(R6)年／75歳までの15年間で、北海道と沖縄を除く範囲において歴史街道スルーハイク、四国遍路の一气通貫全日歩き旅遊学紀行を通して様々な地域の多彩な史跡を凝視・観察して来ました。その経験からも、「高・清フレンドリー古道」本域の史跡は、それらとは決してそんな色のない価値と魅力を持っているものと評価しています。

西川町は平成7年度より文化財登録に向けて新たな取組みを行っているが、本町内の他地区にも無い特色を有しています。これら史跡の存在（静的価値）を裏付けるように古来の人々の躍動（動的歴史）が西川町史等関係市町村史や関連書籍に記載されています。また、現代においても、立ち入ることが困難な厳しい自然環境下に存在することからは極めて貴重な歴史史料（遺産）であります。

本域の史跡（石造文化財）の特徴を列举すると次のとおりです。

- ✓ 1 参詣人（行者・道者、信者、講中）の ^{しんぶつ（かみ・ほとけ）} 神 仏 尊崇証左としての供養碑・石像や神社が
残存している。
- ✓ 2 墓石（男女戒名）が安置されており、劣悪な（厳しい）自然環境に立入り足跡を残した人々の証が残されている。 ⇨本域における女人禁制論に一石を投ずる問題をはらんでいる。
- ✓ 3 ほとんどが国立公園（一部は特別保護区）内に現存している。
- ✓ 4 豪雪地帯・高山帯という厳しい自然環境下に造立されている。
- ✓ 5 鉱山開発との関連性を示す史跡奉納者の家柄や鉱石・鉱物の現物を確認できる。
- ✓ 6 これらの痕跡は修験者・山伏等の修験道専門的職業人との繋がりとはもとより、庶民の素朴な月山・湯殿山の霊力に対する崇仏敬神・信仰心を如実に示す。

.....

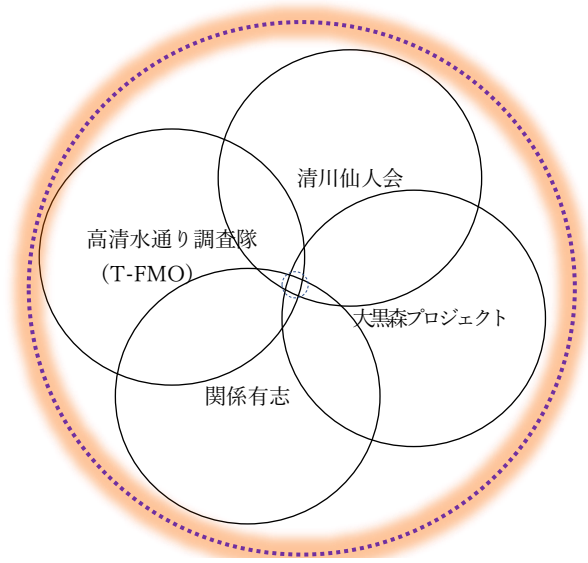
□ これらの活動推進の仲間達について

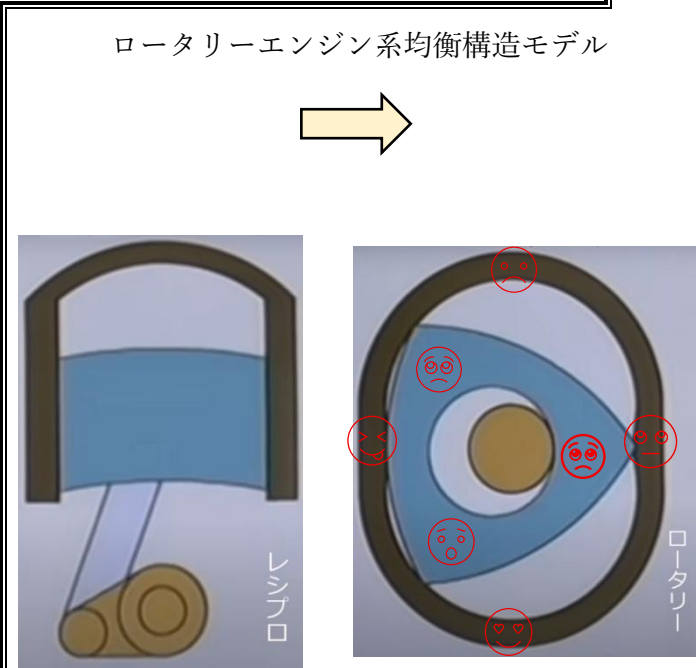
ここまでやれるようになった「熱意と人脈」——すばらしい仲間意識は、あえて指揮命令権限を持つ者（総括トップ）を配置していない、あるいは、そのような既成（規制）型組織統制を無用とするからこそに自然醸成されるのだと思っています。行政執行や業務遂行、非常時は指揮命令形ピラミッド構造の権能発揮は必要だろうが、出羽三山（月山）域の自然と史跡を対象にする有志ボランティア活動においては、対等互敬(恵)と相互扶助の精神を旨とし、各自の自主性を最大限に尊重するからこそ上手く行くものであります。そのような雰囲気においては各自の創意工夫と自発的な役割を生むこととなります。それぞれの特技・得手・持ち味の相互尊重を優是とするからこそに、優劣や身分上下やマンキタゲ佞奸（ひがみ）根性を臭わす者がいないからこそに、腹藏なく和気あいあい、虚心坦懐になれます。仲間の始終の会話と行動は、西川町菅野大志町長が日頃から町民や職員に向けて話されている“寛大三美言”——①私の仕事じゃないと言わない（それも私の仕事だ）、②利他、③先回り——まさにこの精神と

ぴったり符合するという思いがしています。

活動の総てが人生共学・智慧共創・切磋琢磨の実践的フィールドであります。

□ T・K－Friends気質とネットワーク構成について

本情報に係る問合せ先			イメージ図
清川仙人会長 (清川行人小屋管理人)		片倉 忠幸 携帯090-1067-4225 西川町在住	
T・K － Friends	共同代表	宮林 良幸 携帯090-2790-9222 西川町在住	
	事務局担当 (本書文責)	大沼 香 携帯080-3338-3738 山形市在住	



(図柄はYouTube旧車・絶版車チャンネルより)



(図柄はAI-Geminiによる)

T・Kはレシプロモデルとは異質！ロータは回転系の遠心力（発散性／個性性）と求心力（糾合力／協調性）の相反作用を持ちつつ、エンジンは二つの中心（物理的に無い）を持つ楕円系エネルギー起爆装置であるが、（仲間を重ねて）各自は立ち位置を自由自在に移動する中において、自噴する役割（持ち味）は、形象を表さず把持することの出来ない統合体象徴「芯（心）柱」を自然発生的に構築・強化していく。

「人知れず雨（水）とお日様絡み合い
自発の役割天地に叶う」
（註）ここでいう「きみ（君）」は本源的な「貴人」の意味を指す。
イメージの意図は次のとおり。
・波紋が垂直的に出会いつつ永続的である。
・帝釈天の宮殿を飾る因陀羅網相当である。

出羽三山 月山東南エリア 西川口

【高・清フレンドリー古道域】

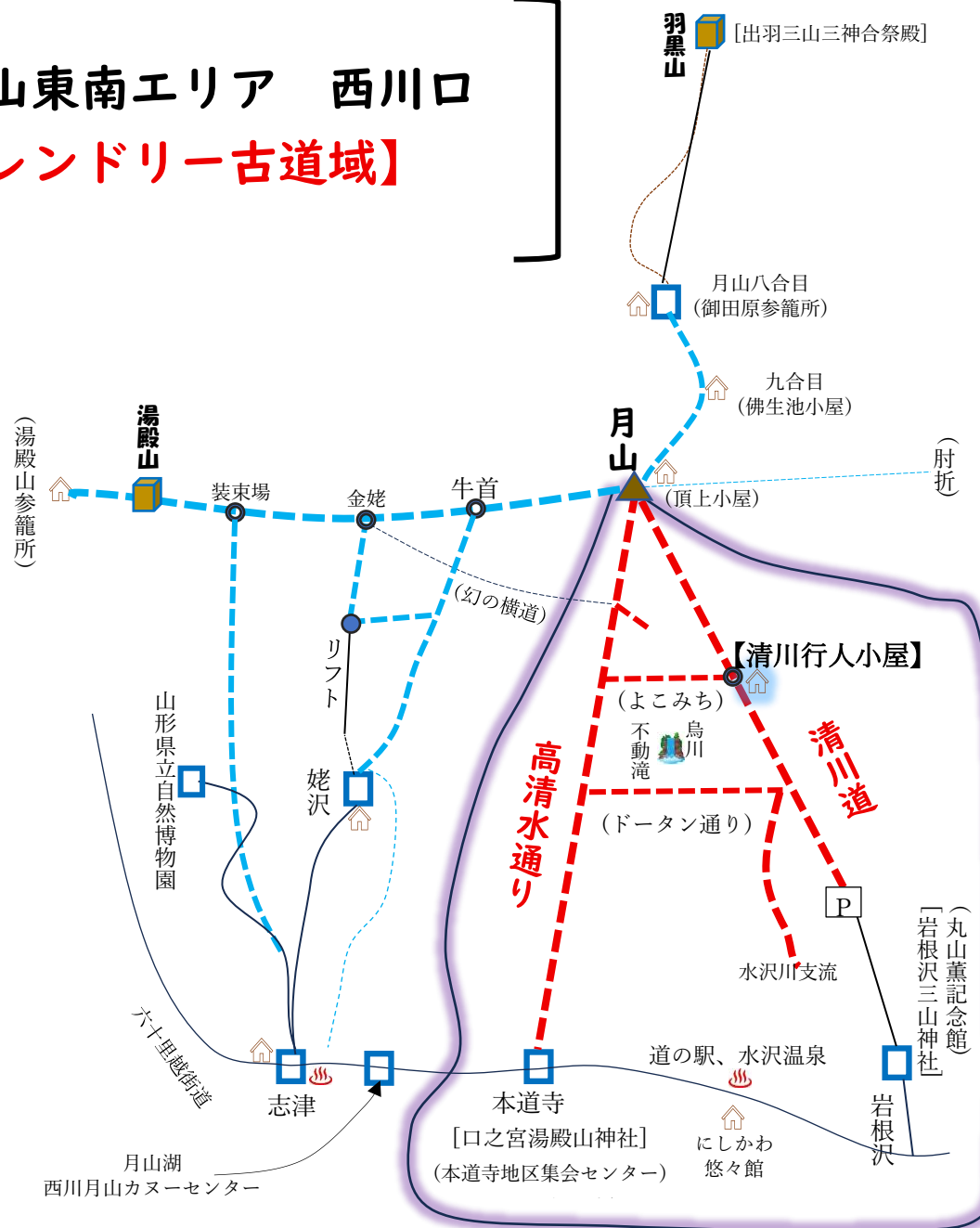
麓から月山まで
14km～15km

「月山までの頑張る（健脚）コース」

神秘と不思議（謎）の史跡（石造文化財）集散地
天神地祇・十方諸仏の共演舞台

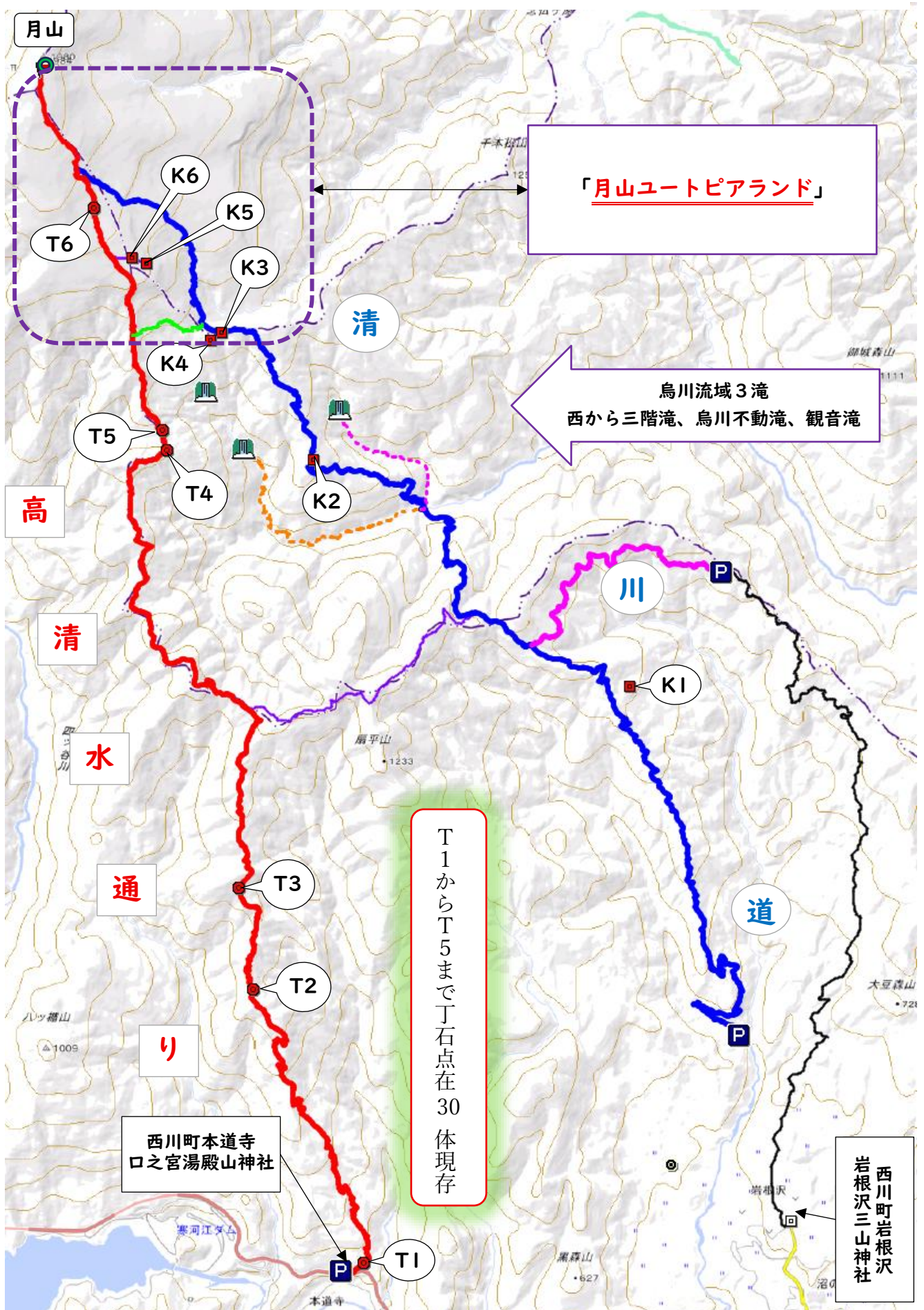
点線：参詣道（登山道）

志津・湯殿・羽黒口は一般コース



「高・清フレンドリー古道」域内史跡位置

(ミステリアス・ランドマーク設定箇所)



「高清水通り」沿いの史跡 ミステリアス・ランドマークT1～T6

T 1；文政五(1822)年起点記念碑



文政五年 達磨寺村
里先達 不動院
山先達 長清坊
後是高清水迄九十六丁處
七月吉日 世話人 佐藤九右衛門
佐竹傳兵衛
原田善兵衛

T 2；姥像等石碑群



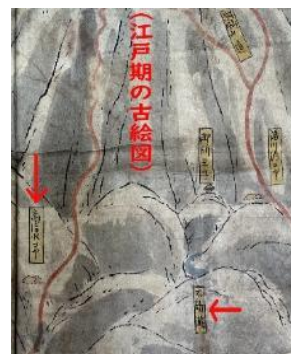
T 3；石船



「正徳六丙申年五月日」(1716年)
丹住形施五丙正普縁養為
敬羽人八主月中徳提無馬六
白氏 日山日年六也縁有親
町
石船の刻字碑文



T 5；元高清水 (九十六丁)

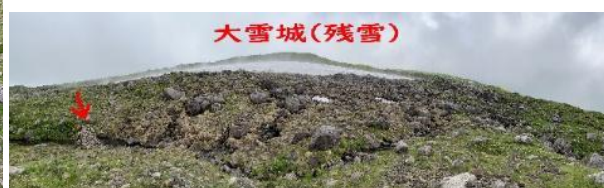


T 4；柴燈場 (柴明場)



T 6；天空石 橋

長さ約7.5m×幅約1.2m×高さ約1.2m



「清川道」沿いの史跡 ミステリアス・ランドマークK1～K6

K 1；把松稲荷神社



K 2；不動明王（カンマン）碑と墓石



K 3；清川行人小屋前石碑群



K 4；清川 御所王子社



左面 正面
 大小 横約38cm×縦約79cm×奥行き約34cm

清川行人小屋前にある御所王子社建立の趣意刻字の石碑

湯殿山 清川御所王子社
 正一位 稻荷大明神
 建立 豊勝主 荒木源兵衛様

K 5；来名戸神



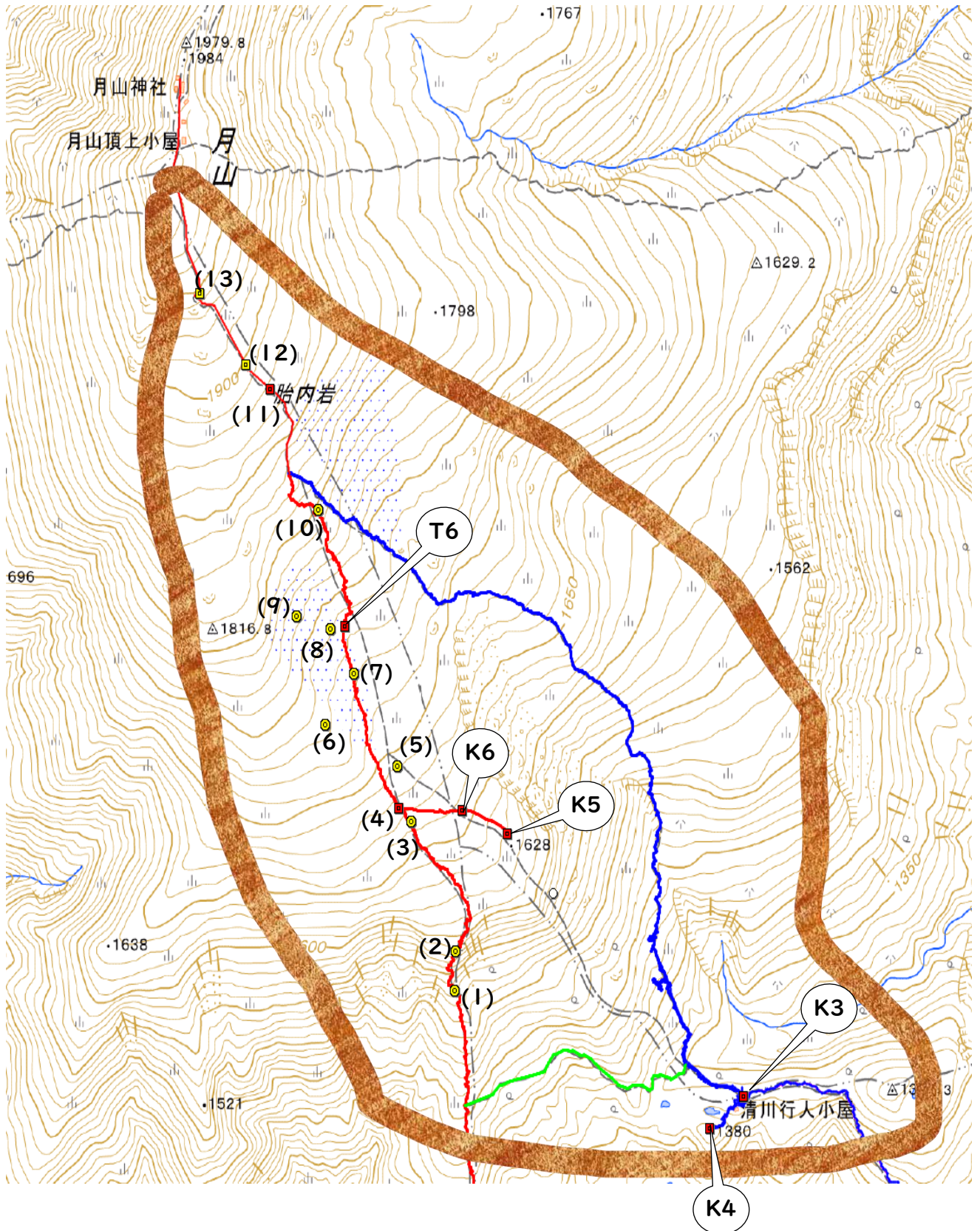
K 6；「月山 湯殿山」追分碑



左 湯殿山 牛首 山先達 福口 長慶坊
 右 月山 羽黒山 道
 小口町 弥作
 ふくしま

「月山ユートピアランド」内（ランドマーク設定以外）史跡・名所

「高・清フレンドリー古道」共通域において、史跡・名所が集積しているエリアを
「月山ユートピアランド」と称する



前頁「月山ユートピアランド」対応

(1)手盡テラス／頭部平坦
てづくし



(2)御立石／頭部鋭角
ごだつし



(3)道しるべ 兼
(半体)地藏菩薩像？



⑧は墓石の一部か？

⑨右側に「岩根澤 本道寺」刻字

(4)横道分岐目印
二つこぶ岩



(5)御田の神



(6)狐の砦（岩峰群）

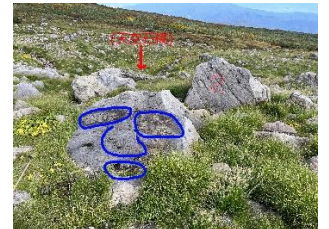


(調査時撮影)

(7)座禅石



(8)人面石 橋 遥拝石
しゃっきょう



(9)万年雪
<年によっては消える?>



(10)夫婦岩



(11)胎内岩



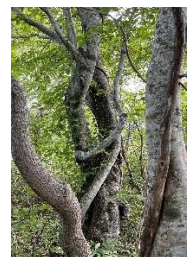
(12)竹の塚古墳



(13)女性修行僧(尼)墓石



「高清水通り」道沿いの珍奇なブナやナラ



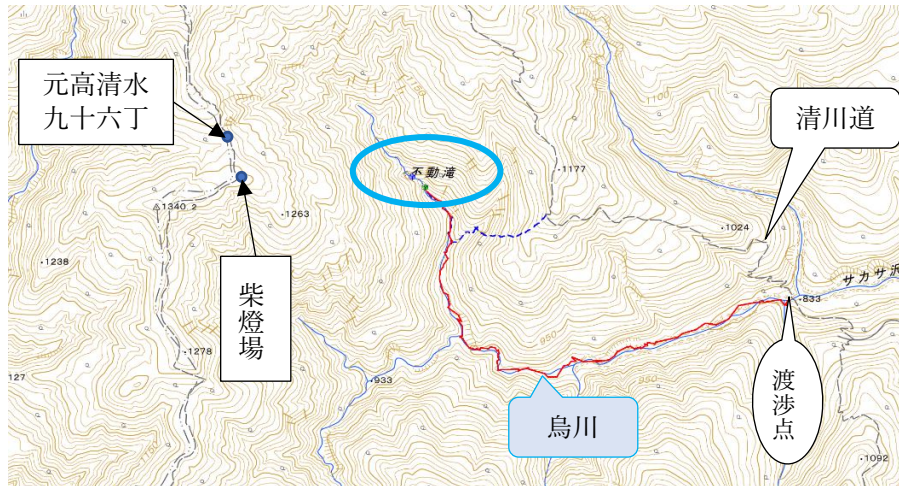
「高清水通り」に現存（点在）する丁石30体／（96体中）

66体は不明！（埋まっている可能性大）

2025(令和7)年8月15日(金)現在

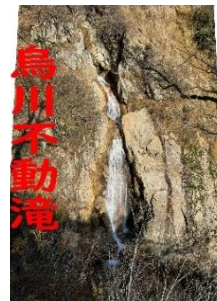


烏川不動滝 & 秘連古道



・ 烏川不動滝は左図の場所
・ 清川道の渡渉点から烏川河原を遡上可である。数個所の横断有り。

江戸時代のこと、旧本道寺（現口之宮湯殿山神社）側は「高清水通り」から秘密裏に、不動尊を祀る烏川不動滝へ至る連絡道を開削した。それを知った旧日月寺（現岩根三山神社）は、一七九六（寛政八）年『烏川不動尊は日月寺奥の院であることを認めて欲しい』と江戸幕府寺社奉行所に裁定を求める騒動が勃発した。『主張のとおり管理権（祭祀権）は日月寺に帰属する』との裁定が下りた。このような一大騒動を巻き起こしたご利益多大なる烏川不動滝（不動尊）とは如何様な所なのか？



上から眺めた状景 可原の石は赤茶色

不動尊

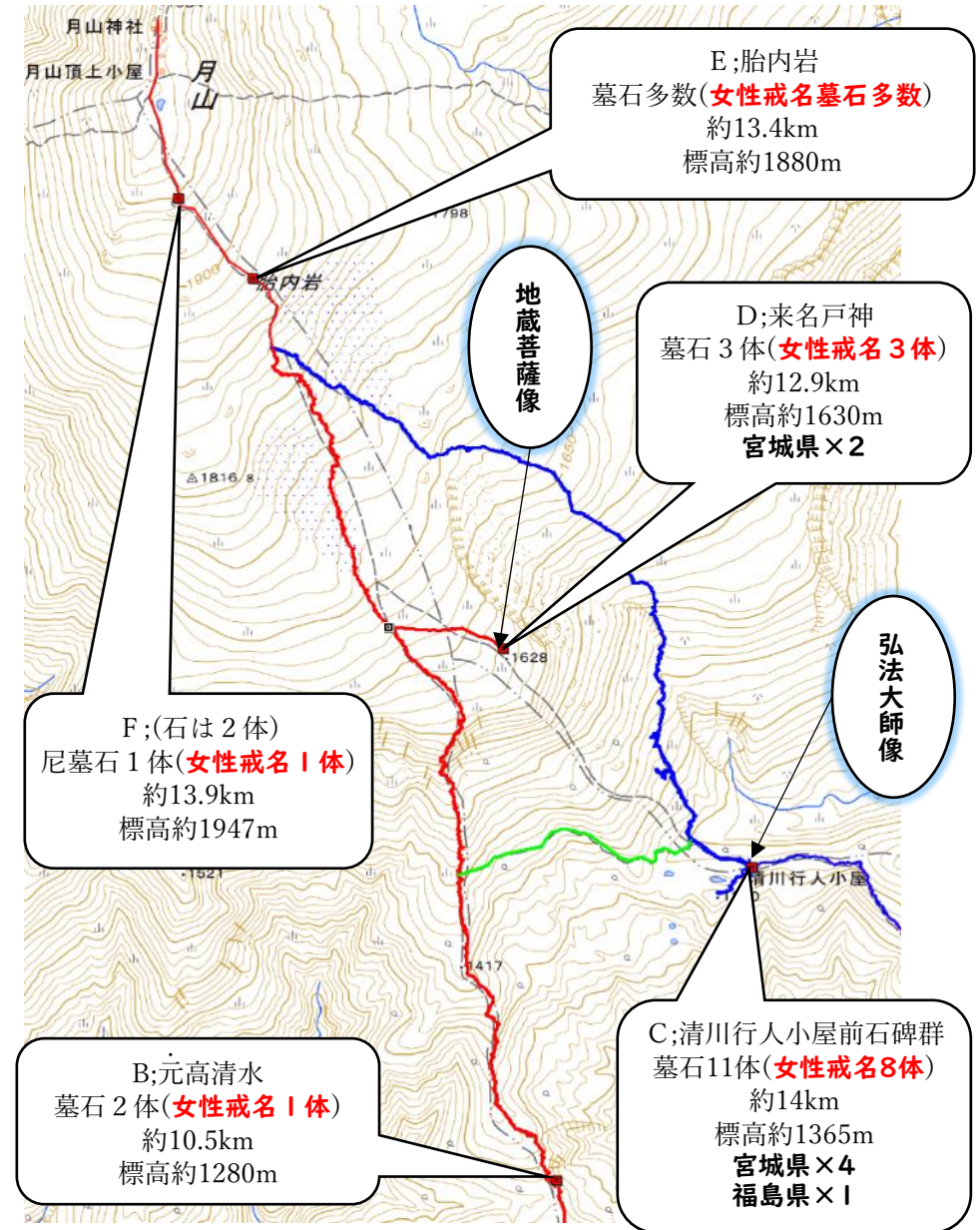
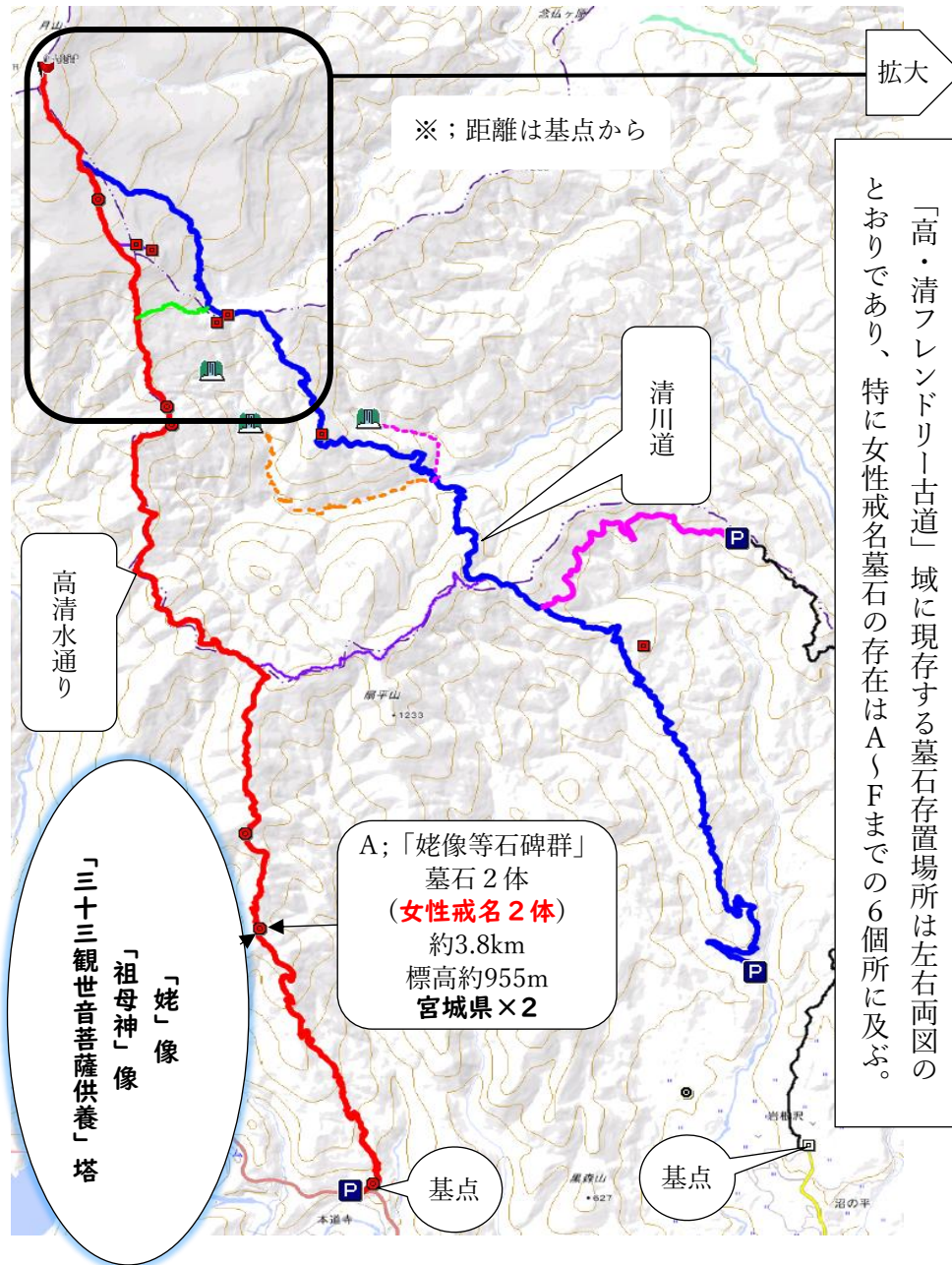


秘連古道の一部



白実線は、柴燈場から烏川不動滝を目指して直行（藪漕ぎ）した時に、一部を偶然発見した秘連古道の推定ルート

「高・清フレンドリー古道」域内 墓石・石像等



登山道整備の一場面



中には直径70cmもある倒木、現場までチェーンソーを背負う／切断・除去には格別の頭を使う



刈払い機を背負い、視界に天空（大空）が入る急傾斜にも挑む／これは大層難儀なことである



崩落箇所（急傾斜地）に
切込みを入れ足場確保



急坂にトラロープを
取り付け

「高清水通り」水場

(註1) 距離は、口之宮湯殿山神社（正確には同社境内北東端文政五年起点記念碑）を起点とする。

(註2) 今日、飲料水は麓から背負うというものの途中で水場があると安心感が増すものである。

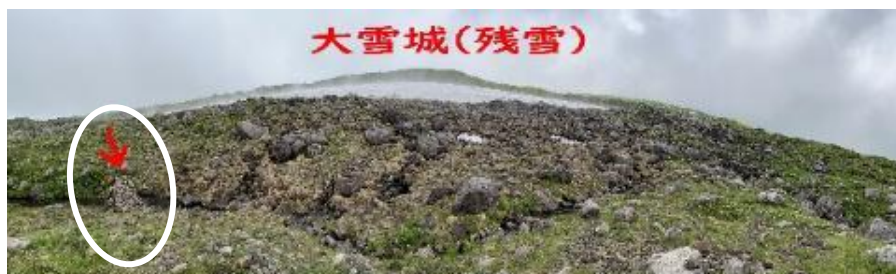
(註3) 飲料水としての要件を検査した訳ではないが、明らかなのは溜水ではなく湧水である。

(註4) 全体が適度な間隔にある。（元高清水水場は本通りから約70m西に入る、入口表示あり。）

名称	距離	標高	状況写真
	(目安)		
天空石橋	約 13.0 km	約 1,733 m	
元・ 高清水	約 11.0 km	約 1,280 m	
サカサ清水	約 7.1 km	約 1,191 m	
高清水	約 6.3 km	約 1,183 m	
石船	約 4.9 km	約 1,044 m	
夫婦清水 みよと	約 1.3 km	約 587 m	

インスタ映えをねえ！（おすすめ撮影ポイント）／ドローン撮影も

「月山ビール」水源の大雪城「天空石橋」でビールを飲む！



西川地ビール「月山ビール」の水は月山浸透水400年ロマンと謳っているが、その浸透直前の水源（源流）を辿ればまさに月山「大雪城」であり、その象徴点が「天空石橋」である。

そこで、深秘漂う月山Gスポ「天空石橋」で「月山ビール」を飲む構図は面白いのではないかな。

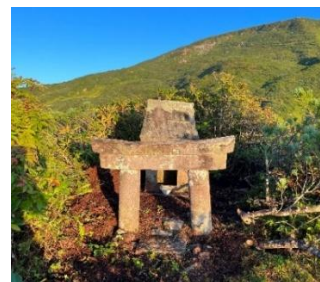
「石船」で天門・地門を拝む！



山形八日町の住人が、湯殿山御宝前向けを船首とする舟形石造物の（水受け）を、両者を結ぶ直線軸と本通りが交差する唯一の当地に寄進奉納した。
その傾きはほぼ45度の開きを持っているが、天からエネルギーが降り注ぐ北西方位（天門・神門）と、地のエネルギーを取り入れる南東方位（地門・風門）を結ぶ方角である。まことに縁起・福得がよい一点である。

「御所王子社」で巫女姿の女性が月山・湯殿山を遙拝！

小高い丘に「御所王子社」という神社（寸詰りの鳥居と石祠）がある



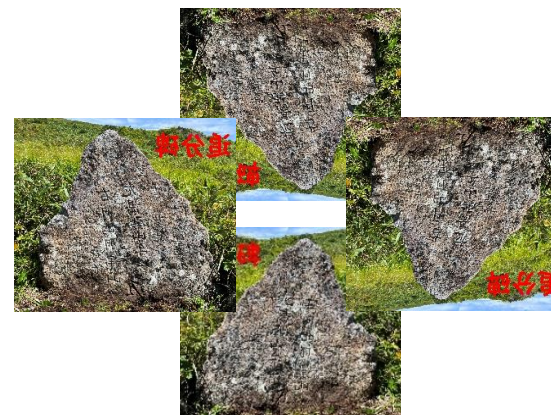
AI-Gemini選択／巫女姿の一例



別に「五所皇子稻荷神社」とも称され、また、永松鉦山を発見した荒木源内の分家荒木源兵衛が寄進奉納した神社である。

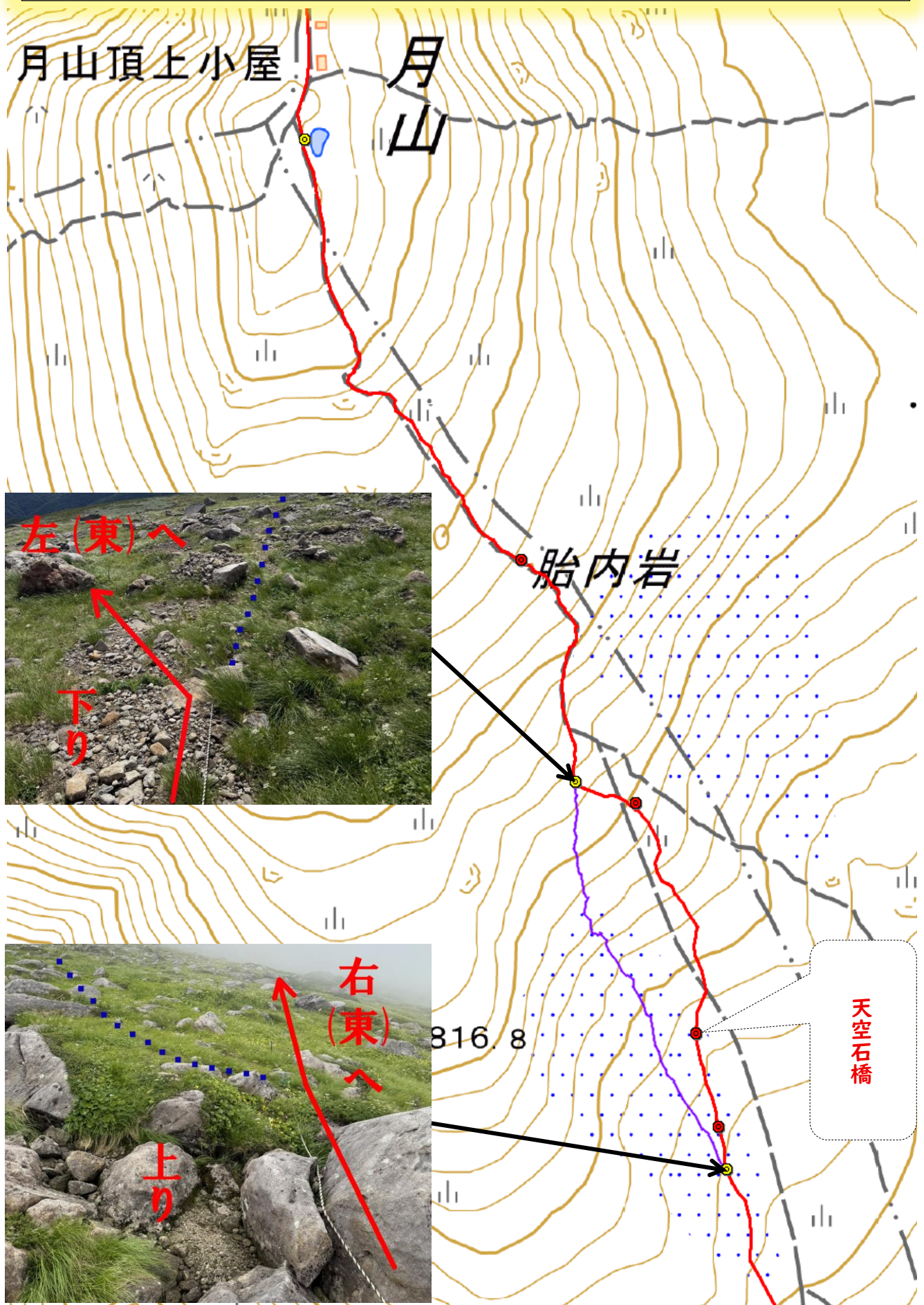
そこは、月山・湯殿山遙拝、五穀豊穰、子孫繁栄、家業繁昌の祈願所、四方祭儀の舞台であったことから、その神秘性の形象具現化が面白いのではないかな。

「月山 湯殿山 追分碑」を拝む！



人生、今この瞬間が分岐点である、右か左か、YesかNoか、その瞬時瞬間、分かれ目での判断の行方がこの先の人生禍福を方向付ける、ならば、この追分碑において、過ち無きようの誓いを立てたいものだ。

天空石橋に行くルートの見極め



「清川行人小屋・御所王子社」に行く近道

昭文社マップ
(切取り)

車はここでストップ
その先は普通に歩かれる山道

ヤブではない！
普通に歩かれる山道

『 高・清フレンドリー古道域調査活動の情報公開・公表の具体性 』

本エリア史跡等調査報告発表（実施済）

開催日	発表場所	タイトル	参加者数
2023(令和5)年3月12日(日)	西川町交流センター 『あいべ』	「高清水通り」調査報告 《主催；T-FMO》	約120名
2024(令和6)年1月28日(日)	同上	「高・清フレンドリー古道エリア」調査報告 《主催；T・K-Friends》	約110名
2024(令和6)年10月27日(日)	鶴岡市朝日南部 コミュニティセンター	「少し変わった地域興しのかたち」 《主催；朝日軍道を復活する会》	約25名
2025(令和7)年5月30日(金)	西川町交流センター 『あいべ』	月山東南エリア西川口『神仏－不思議な史跡』 《主催；西村山神社総代会》	約120名

公的機関関連

――	サイト等	URL	備 考
西川町 ホームページ[行政]	西川町デジタルマップ	https://d-commons.net/nishikawa-map/?c=&p=125219 [高清水通り]	A・B・Cの 三部構成
		https://d-commons.net/nishikawa-map/?c=&p=126972 [清川道] (二つ共に、内容は細部において少し古くなっている。)	――
Y B C [報道機関]	2023年11月7日(火) 放送⇒you tube	https://www.youtube.com/watch?v=9qu7gdKBe-o	――

- ✓「西川町デジタルマップ」に掲載しているものの、修正・追加（加除訂正）の変更がままならないことから、
個人（大沼香）のホームページを開設し、調査報告書と関連の総てを開示し随時更新を図っている。
- ✓マイホームページURL「<https://www.dreamyok.com/>」（あるいは、右のQRコード）
- ✓その他の開示SNSは； facebook ； YAMAP ； YamaReco



2025(R7)/09/12；大 沼 香

21(TK-Friends/ohnuma kaoru)